

2023年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
51104	文章表現とコミュニケーション Improving Writing for Better Communication	河合龍二		教養	1	選択	1年前期
科目の概要							
<p>保育学生が身に付けるべき資質能力を育成する。日本語の基本的な知識の修得に努め、原稿用紙の使い方・手紙文の書き方・要約文・作文・小論文・自己アピール文の作成方法などを学ぶ。また、グループワーク並びに敬語使用法などに取り組むことによって、正しい日本語の文章表現力とコミュニケーション能力を身に付ける。これらの学修を通して、「建学の精神」「社会人基礎力」「pisa型学力」を育成し、柔軟な思考や独自の発想ができるようにする。</p>							
学修内容				到達目標			
<p>① 小テストの計画に沿って保育用語・漢字・語彙・敬語を学ぶ。 ② 原稿用紙に自分の考えをまとめ、発表方法を学ぶ。 ③ 文章や資料を読解し、要約方法と課題の解決策を考える。 ④ グループでコミュニケーションを取り、発表する。 ⑤ 具体的な場面で敬語を学ぶ。</p>				<p>① 保育用語・漢字・語彙・敬語の小テストで8割正解できる。 ② 要求字数の9割以上で文章をまとめることができる。 ③ 課題を見付け、その解決につとめることができる。 ④ 他者の話を聞き、自分の意見を言うことができる。 ⑤ 人間関係を理解して適切な敬語が使用できる。</p>			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例					
前に踏み出す力	主体性	授業で取り組む小論文・作文演習などに、自ら積極的に取り組むことができる。					
	働きかけ力						
	実行力	小テストの予習・復習を始め、授業での課題への取り組みを確実に進めていくことができる。					
考え抜く力	課題発見力	文章や図表から、それぞれの課題が何であるかを発見し、確認・把握することができる。					
	計画力						
	創造力	作文・小論文について、一般的・常識的見解を超えて、独自の考えを提示できる。					
チームで働く力	発信力	各自がまとめた内容、グループで話し合った内容を全体に伝えるように発表することができる。					
	傾聴力	講義や発表の要点、グループ内の発言の要点を的確につかみ、箇条書きで記述することができる。					
	柔軟性						
	状況把握力						
	規律性	遅刻、無断欠席など学修意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようにルールを守ることができる。					
	ストレスコントロール力						
テキスト及び参考文献							
<p>テキスト：毎回、教員の作成したプリントで実施する。 参考文献：講義の中で随時紹介する。</p>							
他科目との関連、資格との関連							
<p>他科目との関連：なし 資格との関連：保育士資格</p>							
学修上の助言				受講生とのルール			
<p>毎回、小テストを実施するので予習すること。 毎回配付されるプリントを基に、授業内容を振り返り理解するよう、復習を心がける。</p>				<p>話をよく聞き、自分で考え、発表するというように、課題に積極的に取り組み、表現力の向上に努めること。 テキストの予習プリントなど配付物は、幼児教育の基礎となるので、将来に備え、各自保管しておくこと。</p>			

【評価方法】

評価対象	評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験	40	①	✓	漢字・語彙・文章表現に誤りがない。 正しい手紙文を書くことができる。 課題となる長文を決められた字数で要約できる。 文章表現のポイントの読解ができ、課題点を見つけることができる。 pisa型学力の出題に課題解決の解答を作成できる。 敬語の種類・適切な使用ができる。	
			②	✓		
			③	✓		
			④	✓		
			⑤	✓		
	平常評価	小テスト	20	①	✓	毎回、家庭学習用の練習プリントを配付し、次の時間の最初に回収する。そのプリントが小テストの範囲になるので予習・復習を行う。 授業の最初に小テストを実施する。次の時間までに採点し、返却した時にフィードバックを行う。授業の初めに実施する文章表現・敬語・文法・漢字・語彙の小テストの得点を評価に加える。
				②	✓	
				③	✓	
				④		
				⑤		
		レポート	10	①	✓	毎回の振り返りシートを蓄積し、自らの学修を調整できている。
				②	✓	
				③	✓	
				④	✓	
				⑤	✓	
		成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	20	①	✓	内容が充実してまとまりがあり、声がよく届き、わかりやすい発表である。 他の学生の発表内容を箇条書きでまとめる。 グループワークにより、テーマについて話し合い、グループの意見をまとめることができる。各自の作文・グループワークで課題解決型（pisa型学力）の対応ができる。 誤字・脱字がなく、用語の使用が適切である。 要求字数の9割以上でまとめられている。 一文が簡潔でわかりやすい。 自らの独自の観点が示され、内容が優れている。
				②	✓	
				③	✓	
				④	✓	
				⑤	✓	
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓	（主体性）小論文・作文演習などに、積極的に取り組むことができる。 （実行力）目標への取り組みを確実に進めていくことができる。 （課題発見力）文章・図表から課題を発見し、解決策を考察できる。 （創造力）文章・図表を踏まえて、独自の解決策を提案できる。 （発信力）聞き手に分かりやすく、自らの考えを発表できる。 （傾聴力）他の者の話を聞き、課題を考察し、理解を深めることができる。 （規律性）遅刻、無断欠席など学習意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。	
			②	✓		
			③	✓		
			④	✓		
			⑤	✓		
総合評価割合		100				

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>Sは、作文・議論・知識などの内容が高度である。具体的には、文章表現において、誤字・脱字がなく、要求字数の9割以上で、要約、課題の指摘、意見表明ができる文章を作成し、内容的に確実である。演習・グループワークとも積極的に、自己主張のみでなく、他者を配慮した議論が進められる。聞きやすく、説得力のある発表ができる。敬語の種類・語彙を十分マスターできている。試験・小テストの正解率が9割以上である。Aは、Sとほぼ同様であるが、試験・小テストの正解率が8割以上である。</p>	<p>Bは、学修態度がやや積極性に欠けるが、作文・議論・知識などの内容は概ねよい。具体的には、文章表現において、誤字・脱字が2か所以内にとどまり、要求字数の8割以上で要約、課題の指摘、意見表明ができる文章を作成し、内容の過ちはない。演習・グループ学習ともよく加わり、進捗に貢献する役割を果たすことができる。聞きやすく、ほぼ内容が分かる発表ができる。敬語の種類・語彙を7割以上マスターできている。試験・小テストの正解率が7割以上である。 Cは、学修態度が受動的であるものの、誤字・脱字は5か所以内、要求字数の6割以上で表現でき、何とか誤解のないコミュニケーションができ、敬語・語彙・試験・小テストが6割以上である。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	オリエンテーション 予習プリントに基づく 小テストの計画・方法を 確認する。 語彙力を身に付ける①	シラバスと社会人基礎 力をはぐくむ学泉ノー トを参照し、講義・演 習などの授業の方法と 小テスト、予習復習の ための課題について説 明する。語彙を増やす ための工夫について考 え、演習をする。	語彙力を身に付ける工 夫を提案できる。 新聞を読めるレベルま で、自らを高めようと する意欲をもつことが できる。	(復習) 振り返りシー トを基に何が分かるよ うになったか、何がで きるようになったかを 確認する。	90	主体性 課題発 見力 傾聴力 規律性
2	語彙力を身に付ける② 新聞を読み、日常言語 と専門用語について理 解を深める。 ※保育用語の修得(随 時提示) ※表現方法の習熟…主 述の呼応。	講義・演習・グループ ワーク 思考ツールを用いて、 ものの見方・考え方を 整理する。 授業開始時に保育用語 と表現スキルの理解度 を図る小テストを行 う。	小テストの正答率は、 6割以上である。 語彙力を身に付ける工 夫について提案でき る。 200字の要約文を完成 することができる。	(予習) 事前配付プリ ントを熟読しておく。 (復習) 振り返りシー トを基に何が分かるよ うになったか、何がで きるようになったかを 確認する。	90	主体性 実行力 課題発 見力 規律性
3	現代に残る古語① 幼児に聞かせる童謡や ことわざにある古語を 発見し、理解を深め る。 ※保育用語の修得(随 時提示) ※表現方法の習熟…修 飾語、指示語。	講義・演習・グループ ワーク 思考ツールを用いて、 ものの見方・考え方を 整理する。 授業開始時に保育用語 と表現スキルの理解度 を図る小テストを行 う。	小テストの正答率は、 6割以上である。 古語を通して日本の伝 統文化や感性を知り、 幼児教育に生かそうと する意欲が生まれる。	(予習) 事前配付プリ ントを熟読しておく。 (復習) 振り返りシー トを基に何が分かるよ うになったか、何がで きるようになったかを 確認する。	90	主体性 実行力 課題発 見力 規律性
4	現代に残る古語② 幼児に教えるかるたや 百人一種に使われている 古語について理解を 深める。 ※保育用語の修得(随 時提示) ※表現方法の習熟…品 詞と活用。	講義・演習・グループ ワーク 思考ツールを用いて、 ものの見方・考え方を 整理する。 授業開始時に保育用語 と表現スキルの理解度 を図る小テストを行 う。	小テストの正答率は、 6割以上である。 古語を通して日本の伝 統文化や感性を知り、 幼児教育に生かそうと する意欲が生まれる。	(予習) 小テストの提 出用課題を学修する。 (復習) 振り返りシー トを基に何が分かるよ うになったか、何がで きるようになったかを 確認する。	90	主体性 実行力 課題発 見力 規律性
5	現代に残る漢語① 幼児に教えるやことわざ や故事成語にある漢語を 発見し、理解を深める。 ※保育用語の修得(随 時提示) ※表現方法の習熟…オノ マトベ、能動態と受動 態。	講義・演習・グループ ワーク 思考ツールを用いて、 ものの見方・考え方を 整理する。 授業開始時に保育用語 と表現スキルの理解度 を図る小テストを行 う。	小テストの正答率は、 6割以上である。 漢語を通して日本の伝 統文化や徳性を知り、 幼児教育に生かそうと する意欲が生まれる。	(予習) 事前配付プリ ントを熟読しておく。 (復習) 振り返りシー トを基に何が分かるよ うになったか、何がで きるようになったかを 確認する。	90	主体性 実行力 課題発 見力 規律性
6	現代に残る漢語② 幼児に伝えたい漢語を 発見し、理解を深め る。 ※保育用語の修得(随 時提示) ※表現方法の習熟…修 飾語。	講義・演習・グループ ワーク 思考ツールを用いて、 ものの見方・考え方を 整理する。 授業開始時に保育用語 と表現スキルの理解度 を図る小テストを行 う。	小テストの正答率は、 6割以上である。 漢語を通して日本の伝 統文化や徳性を知り、 幼児教育に生かそうと する意欲が生まれる。	(予習) 事前配付プリ ントを熟読しておく。 (復習) 振り返りシー トを基に何が分かるよ うになったか、何がで きるようになったかを 確認する。	90	主体性 実行力 課題発 見力 規律性
7	日本語の変化① 若者言葉を通して日本 語の変化について理解 を深める。 ※保育用語の修得(随 時提示) ※表現方法の習熟…ら 抜き言葉	講義・演習・グループ ワーク 思考ツールを用いて、 ものの見方・考え方を 整理する。 授業開始時に保育用語 と表現スキルの理解度 を図る小テストを行 う。	小テストの正答率は、 6割以上である。 保育士が使う言葉とし て、気を付けるべき点 を理解できる。	(予習) 事前配付プリ ントを熟読しておく。 (復習) 振り返りシー トを基に何が分かるよ うになったか、何がで きるようになったかを 確認する。	90	主体性 実行力 課題発 見力 傾聴力 規律性
8	日本語の変化② 歌謡曲を通して日本語 の変化について理解を 深める。 ※保育用語の修得(随 時提示) ※表現方法の習熟…短 縮語、絵文字。	講義・演習・グループ ワーク 思考ツールを用いて、 ものの見方・考え方を 整理する。 授業開始時に保育用語 と表現スキルの理解度 を図る小テストを行 う。	小テストの正答率は、 6割以上である。 保育士が使う言葉とし て、相手がどう受け止 めるかを想像できる。 言葉の変化に関する 800字の小論文を完成 することができる。	(予習) 事前配付プリ ントを熟読しておく。 (復習) 振り返りシー トを基に何が分かるよ うになったか、何がで きるようになったかを 確認する。	90	主体性 実行力 課題発 見力 創造力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	保育士の言葉遣い① 幼児に対して「見せる言葉」と「語る言葉」の在り方について理解する。 ※保育用語の修得(随時提示) ※表現方法の習熟…「お手紙」、発音・発声。	講義・演習・グループワーク 思考ツールを用いて、ものの見方・考え方を整理する。 授業開始時に保育用語と表現スキルの理解度を図る小テストを行う。	小テストの正答率は、6割以上である。 保育士が伝える言葉として、用語の選択に加え音声表現スキルについて理解できる。	(予習) 事前配付プリントを熟読しておく。 (復習) 振り返りシートを基に何が分かるようになったか、何ができるようになったかを確認する。	90	主体性 実行力 創造力 発信力 規律性
10	保育士の言葉遣い② 保護者に対して「見せる言葉」と「語る言葉」の在り方について理解する。 ※保育用語の修得(随時提示) ※表現方法の習熟…「お知らせ」、敬語。	講義・演習・グループワーク 思考ツールを用いて、ものの見方・考え方を整理する。 授業開始時に保育用語と表現スキルの理解度を図る小テストを行う。	小テストの正答率は、6割以上である。 保育士が伝える言葉として、用語の選択に加え音声表現スキルについて実践できる。	(予習) 事前配付プリントを熟読しておく。 (復習) 振り返りシートを基に何が分かるようになったか、何ができるようになったかを確認する。	90	主体性 実行力 創造力 発信力 規律性
11	敬語表現の実践① 訪問客や上司への応対など、具体的な場面での敬語使用法を学ぶ。 ※保育用語の修得(随時提示) ※表現方法の習熟…敬語。	講義・演習・グループワーク 授業開始時に保育用語と表現スキルの理解度を図る小テストを行う。 ケーススタディを実践する。場面設定にふさわしい振舞いを体験する。	小テストの正答率は、6割以上である。 場面にふさわしい言動、行動であったかをグループで検証し、改善策を提案できる。	(予習) 事前配付プリントを熟読しておく。 (復習) 振り返りシートを基に何が分かるようになったか、何ができるようになったかを確認する。	90	主体性 実行力 発信力 傾聴力 規律性
12	敬語表現の実践② 訪問客や上司への応対など、具体的な場面での敬語使用法を学ぶ。 ※保育用語の修得(随時提示) ※表現方法の習熟…挨拶、表情。	講義・演習・グループワーク 授業開始時に保育用語と表現スキルの理解度を図る小テストを行う。 ケーススタディを実践する。場面設定にふさわしい振舞いを体験する。	小テストの正答率は、6割以上である。 場面にふさわしい言動、行動であったかをグループで検証し、実践できる。	(予習) 事前配付プリントを熟読しておく。 (復習) 振り返りシートを基に何が分かるようになったか、何ができるようになったかを確認する。	90	主体性 実行力 発信力 傾聴力 規律性
13	自己有用感の育成① 自信をもって幼児の教育にあたることができるよう、自身の強みを知り、表現する。 ※保育用語の修得(随時提示) ※表現方法の習熟…自己の特性表現	講義・演習・グループワーク 授業開始時に保育用語と表現スキルの理解度を図る小テストを行う。 グループワークで互いの長所を探し、認め合う。	小テストの正答率は、6割以上である。 800字の自己PR文を作成し、発表できる。	(予習) 事前配付プリントを熟読しておく。 (復習) 振り返りシートを基に何が分かるようになったか、何ができるようになったかを確認する。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
14	自己有用感の育成② 幼児や同僚、保護者の長所を探すノウハウを理解する。 ※保育用語の修得(随時提示) ※表現方法の習熟…自己PR	講義・演習・グループワーク 授業開始時に保育用語と表現スキルの理解度を図る小テストを行う。 グループワークで相手の長所を10項目ずつ伝えることができる。	小テストの正答率は、6割以上である。 相手の「いいところ探し」をする姿勢の大切さを実感できる。	(予習) 事前配付プリントを熟読しておく。 (復習) 振り返りシートを基に何が分かるようになったか、何ができるようになったかを確認する。	90	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
15	まとめ これまで学んできた敬語表現・文章表現を総復習し、確認する。 保育士としての意気込みを堂々とスピーチする。	幼稚園・保育園採用試験作文・小論文の技法のポイント説明。 15週にわたって学修した内容を小テスト振り返りシート、社会人基礎力チェックシート等を使って、フィードバックを行う。	小テストの正答率は、6割以上である。 これまで学んできた文章表現・敬語表現・小テストの課題を6割以上理解できている。	(予習) これまで学んできた文章表現・敬語表現・小テストの点検。 (復習) 各自が目指す幼稚園・保育園採用試験作文・小論文の特徴を振り返る。期末試験に向けた文章表現の総復習を行う。	90	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力